

廃棄物施策の実施状況について

1 ごみ処理施策の状況

(1) ごみ減量化・資源化の普及啓発（平成27年度実績）

① テレビ広報などを活用した情報発信

- 弘前市広報テレビ番組「えがお弘前 “ビタミン Hi (ハイ)”」
タイトル「循環型の弘前をめざして～ごみ減量・資源化に全力～」
平成27年11月21日（土）10時15分～10時30分放送
- 広報誌「広報ひろさき」
 - ・毎月1日号に「ごみ減量速報」を掲載
 - ・平成27年11月1日号「小型家電・衣類リサイクル」特集掲載
 - ・平成28年2月1日号「雑がみリサイクル」特集掲載
- FMアップルウェーブにて「ごみ減量化」についてシリーズ放送

② ごみ減量化・資源化推進イベントの開催

- 「3R推進東北大会 in ひろさき 2015」開催（環境省主催）
平成27年9月20日（日）カルチャーロードに併せてブース出展
- 市主催「第1回まぢなが・サミット」開催に併せてブース出展
平成28年1月30日（土）
- 「ごみ減量化・資源化推進フォーラム」開催
平成28年3月19日（土）

③ 出前講座の実施

以下の5つの講座を設定し、実施しています。

● 実施実績（3/18日時点）

講座名	実施回数
① 分別ごみとリサイクル	7
② はじめよう！ダンボールコンポスト	1
③ ごみの分け方出し方（事業所版）	0
④ あなたからはじめよう！生ごみの水切り	0
⑤ 地域のみんなではじめよう 再生資源回収運動	0
合 計	8

(2) 廃棄物減量等推進員

町内のごみ問題を把握し、ごみの減量化・資源化を推進していくため、各町内会に推進員を配置しています。

●配置人数

	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
配置人数 (人)	592	569	577	582

※平成27年度は、平成28年3月16日時点の人数

(3) 再生資源回収運動

ごみの減量化・資源化を推進するため、町会や学校PTAなどが実施する再生資源回収運動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績 (kg)

品 目		H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度 (~12/31)
古紙類	新聞紙	1,075,579	1,012,291	977,468	794,569
	雑誌類	455,705	424,130	405,510	342,066
	ダンボール	410,309	392,855	388,417	318,726
	紙パック	24,564	25,420	23,325	19,913
古紙類計		1,966,157	1,854,696	1,794,720	1,475,274
アルミ缶		77,337	72,429	66,840	58,398
衣類・布類		170	10	2	3,954
ビールケース		1,712	1,490	1,534	1,294
びん		58,836	52,713	48,767	39,357
合 計		2,104,212	1,981,338	1,911,863	1,578,277

●報償金交付実績

年度 団体種別	H 2 4 年度		H 2 5 年度		H 2 6 年度		H 2 7 年度 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	65	2,503,368	64	2,367,144	63	2,313,916	66	2,016,700
婦人会	13	373,304	13	352,592	13	313,648	12	233,376
P T A	36	3,463,368	38	3,096,912	39	3,043,576	42	2,663,924
幼稚園・ 保育所	13	219,560	12	185,164	11	158,768	10	127,292
子供会	7	126,836	6	111,328	5	94,256	6	82,816
その他	46	1,730,412	46	1,812,212	48	1,723,288	42	1,189,000
合 計	180	8,416,848	179	7,925,352	179	7,647,452	178	6,313,108

(4) 古紙類 (新聞、雑誌・雑がみ) の行政回収

古紙類 (新聞、雑誌、雑がみ) のリサイクルを推進するため、平成 2 4 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。

回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

●回収実績及び売払い収入

品目	H 2 4 年度		H 2 5 年度		H 2 6 年度		H 2 7 年度 (~12/31)	
	回収量 (k g)	売払収入 (円)	回収量 (k g)	売払収入 (円)	回収量 (k g)	売払収入 (円)	回収量 (k g)	売払収入 (円)
新聞紙	647,676	6,092,813	578,160	5,080,757	564,320	5,192,975	413,010	4,071,212
雑誌・ 雑がみ	524,550	2,558,314	515,140	2,359,099	498,870	2,467,913	380,020	2,061,507
古紙類 合計	1,172,226	8,651,127	1,093,300	7,439,856	1,063,190	7,660,888	793,030	6,132,719

(5) 古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の拠点回収

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市民の利便性を図り、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

●回収ステーション設置場所

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町分庁舎 ⑤総合学習センター

●回収実績及び売払収入

品目	H24年度		H25年度		H26年度		H27年度 (~12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	63,227	146,054	52,526	66,183	43,390	60,913	27,921	45,228
雑誌・ 雑がみ	86,733	108,416	77,050	32,361	65,430	28,259	55,697	30,074
古紙類合計	149,960	254,470	129,576	98,544	108,820	89,172	83,618	75,302

(6) 弘前地区オフィス町内会

平成22年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鱈町、 田舎館村、西目屋村

●回収実績及び会員数（弘前市分）

	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度 (~12/31)
会員数	114	126	137	175
回収量（k g）	53,372	101,149	111,541	161,484

（7）使用済小型家電リサイクル

「使用済小型家電電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成24年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しています。

●回収ボックス設置場所

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター
 ⑤ヒロロスクエア ⑥弘前地区環境整備センター ⑦ケーズデンキ弘前本店
 ⑧ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店

●回収実績

	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度 (~12/31)
回収量（k g）	140	1,480	1,110	1,580

※平成24年度は、環境省の実証実験として、3/1~3/25の期間で実施

<参考>

●弘前地区環境整備センターでのピックアップ回収実績

	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度 (~12/31)
回収量（k g）	2,639	未実施	未実施	1,140

※平成24年度は、環境省の実証実験として、3/1~3/25の期間で実施

●圏域8市町村会議開催

- ・担当課長会議 2回 ・ワーキング担当学会議 4回

(8) 衣類回収

ごみの減量化・資源化を推進するため、平成27年度から市役所など市内5カ所の公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しています。

また、「(3) 再生資源回収運動」の回収品目にも追加しています。

●回収ボックス設置場所

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎
④総合学習センター ⑤ヒロロスクエア

※H28.4より、以下の3か所を追加予定。

- ⑥清水交流センター ⑦千年交流センター ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター

●回収実績

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (~12/31)
回収量 (kg)	未実施	未実施	未実施	24,254

(9) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助

家庭から排出される燃やせるごみの約半分を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基当たり2,000円の補助金を交付しています。

●補助金交付実績

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (~12/31)
補助基数	131	165	78	105
補助額 (円)	262,000	330,000	156,000	210,000

(10) 事業所訪問の実施

当市のごみ処理の課題である事業系ごみ対策として、平成27年度から事業所を直接訪問し、ごみの排出ルールの確認や指導を行っています。

●訪問実績 平成27年度 72事業所

(11) 展開調査の実施

当市のごみ処理の課題である事業系ごみについて、今後の施策立案の基礎とするため、平成27年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される可燃ごみの展開調査を実施しています。

●平成27年度展開調査実績

調査月 (回数)	総ごみ量 (k g)	リサイクルできる紙 (k g)	リサイクルできる紙の割合
7月 (5回)	2,461	327.0	13.29%
8月 (2回)	1,270	448.0	35.28%
9月 (2回)	1,260	78.0	6.19%
11月 (4回)	1,750	150.4	8.59%
12月 (3回)	2,060	175.1	8.50%
2月 (1回)	1,680	109.4	6.51%
合計 (17回)	10,481	1,287.9	12.29%

(12) 処分手数料の適正化

平成28年4月より、弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する弘前地区環境整備センター及び南部清掃工場での処分手数料が引き上げられることに伴い、事業者に対して周知を行うほか、更なるごみの減量化・資源化を呼び掛けています。

●中間処理施設での処分手数料

	平成28年3月まで		平成28年4月より
燃やせるごみ	50kg 未満	無料	10kg までごとに 100 円
	50kg	250 円	
	50kg 超	250 円+50kg を超える 10kg ごとに 50 円	
燃やせないごみ 大型ごみ	100kg 未満	無料	10kg までごとに 125 円
	100kg	1,250 円	
	100kg 超	1,250 円+100kg を超える 10kg ごとに 125 円	
資源ごみ (容器包装のみ)	無料		無料

※手数料は、上記に消費税相当額を加算した後、10円未満の端数を切り捨てた額

(13) リサイクル可能な古紙類の受入制限

平成28年4月より、弘前地区環境整備事務組合と協力し、リサイクル可能な古紙類の受入制限を実施するため、チラシ及びポスターなどによる周知を行うほか、リサイクル可能な古紙類の排出先として、県が進めている古紙類回収ネットワーク「オフィス町内会」への加入を促進しています。

(1) 合併浄化槽整備事業費補助金

下水道及び農業集落排水施設の処理区域外での生活排水の適正処理を推進するため、新たに合併処理浄化槽を設置する際に費用の一部を補助しています。

●補助基準額

人槽区分	5人槽	6～7人槽	8～10人槽
補助限度額（円）	352,000	441,000	588,000

※これらの補助金には、国の循環型社会形成推進交付金（1/6）及び青森県の浄化槽整備費補助金（1/3）が含まれる。

●補助実績

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
補助基数	5人槽	1	2	2	0
	6～7人槽	2	3	0	1
	8～10人槽	0	0	0	0
補助額（円）		1,234,000	2,027,000	704,000	441,000

(2) 住民に対する広報、啓発

市の広報誌を活用し、生活雑排水対策の必要性や重要性のほか、合併浄化槽整備事業費補助金の周知を実施しています。